

Web Usability & Accessibility

ウェブのユーザビリティとアクセシビリティ

Vol.4

今回は社会福祉、雇用に関する諸問題を担当する厚生労働省を取り上げた。不景気による厳しい雇用情勢。生活面でもさまざまな影響を受けている高齢者・障害者にとって必要な情報が、サイトからすぐ入手できる仕組みになっているのか。誰もが情報を平等に得ることができるよう、「Webの何が問題なのか」をあらためて検証する。



アクセシビリティ分析担当
濱田英雄
(株)ユーディット 主任研究員
hamada@udit-jp.com



ユーザビリティ分析担当
石田直子
(株)ユーディット 研究員
naoko@udit-jp.com

(株)ユーディット
URL <http://www.udit-jp.com>
「情報のユニバーサルデザイン」を目指し、アクセシブルなWebの制作やコンサルティング、高齢者や障害者も利用できるユニバーサルデザインの情報環境、製品の調査などを行っている。

ハローワーク・インターネットにこそ障害者の就労情報を率先すべき

厚生労働省サイトの調査にあたり、ハローワーク・インターネットサービスの中に、求人情報を検索できるページを見つけました。しかし、残念ながら障害者の就労に関する情報は見つけれませんでした。

<http://www.hellowork.go.jp/>

本来ならば、ハローワークに簡単に行くことのできない障害者こそ、インターネットでの情報提供が必要なのではないでしょうか。

失業率が4%を超える昨今の厳しい雇用情勢の中で、一番影響を受けているのが障害者です。たとえ能力があっても、物理的に不可能ということもあります。例えば、車椅子で満員の通勤電車で通勤することが無理なことは容易に想像できると思いますし、段差や階段、狭いトイレなどいろいろ問題があります。

情報の宝庫であるWebサイトは障害者にとって問題が多い

そんな中で一つの光を与えてくれたのが、パソコンをはじめとするIT機器やインターネットの普及でした。自宅にいながら仕事ができる、いわゆるSOHOの実現です。

うちの会社(ユーディット)でも、私だけではなく、数十人の障害を持つ登録社員がおり、北海道から九州まで距離や障害に関係なく、メールやメーリングリスト、インターネットを駆使して仕事をしています。

ユーザビリティの高いWeb作りのための6ポイント

- ・ ユーザーにサイトの目的が伝わること
- ・ 全体像がトップページで把握できること
- ・ デザインや構成が統一されていること
- ・ 必要な情報が適切な場所にあること
- ・ 次の動作がわかりやすいこと
- ・ 予想されたフィードバックが返ってくること

情報の宝庫であるWebサイトは、それらの中でも重要な位置を占めています。障害者にとって問題の多いのも現実です。とくに視覚障害者は大変です。

視覚障害者が情報を手に入れる手段としていくつかありますが、その一つに点字によるものがあります。ところが、黒字(点字に対して書いてある文字を指す)を点字に直すと膨大なページになってしまいます。たとえば、文章が約1cm角の平仮名になって、ずっと並んでいるものをイメージしてみてください。原文と比べてどれほど分量が増えてしまうか、ご想像いただけるでしょう。ほかにテープ録音による情報があります。しかし、点字化や録音化には時間もかかり、新しい情報の遅れや、嗜好的要素の強いものには対応できませんでした。

情報を平等に得られるようにWebの問題点を指摘

技術の進歩により、印刷物をOCRソフト(スキャナーで取り込んだ画像からテキスト文字を抽出する)でテキスト化し、音声で読み上げたり、音声ブラウザを使ってWebサイト上の情報を聞くことができるようになりました。

ですから、より多くのサイトがアクセシブルになり、誰もが情報を平等に得ることができ、障害を持つ者にもチャンスが与えられるためにも、「Webの何が問題なのか」を知っていただくことが、この連載の意義の一つでもあると思います。

(文:濱田英雄)

アクセシビリティの高いWeb作りのための6ポイント

- ・ 画像にはALT属性をつけること
- ・ 外国語の乱用はしないこと
- ・ <title>タグは的確につけること
- ・ 背景と文字色はコントラストがあること
- ・ フレームの使用は必要最小限にすること
- ・ 新しい技術には代替手段を用意すること

ユーザビリティについて (解説/石田直子)

ユーザーにサイトの目的が伝わること ★★★★★

厚生労働省の活動が知りたい方には、「厚生労働省のあらまし」、報告書などを知りたい方は「白書・法令など」というように、ユーザーが何を期待してサイトを訪れるかを意識したメニューづくりがされています。

全体像がトップページで把握できること ★★★★★

「厚生労働省のあらまし」、「白書・法令など」、「申請手続きなど」といったサイトに含まれるメニューが、すぐわかるような画面構成になっています(図1)。各メニューに連なるサブメニューも表示されており、メニューの内容についての情報も得ることができます。

デザインや構成が統一されていること ★★★★★

メニュー項目から1段階奥のメニューには、トップページ上部に表示されたものと同じメニューアイコンと、厚生労働省のテキスト画像があります(図1-①)。もう1段階奥へ入ると、これらの画像は消え、代わりにサイトのどのページをたどってきたかがわかるテキストリンク(パンくずリンク)があります(図2-①)。すべてのページを統一してはいませんが、ルールが決められてあり、わかりやすいページレイアウトとなっています。

必要な情報が適切な場所にあること ★★★★★

トップページの最後に連絡先住所、電話番号、E-mailアドレスが書かれています(図1-②)。しかし、ほかのページはシンプルにまとめたゆえか、連絡先情報は書かれていません。サイトの途中で質問事項などに気づいたときに、トップページに戻る必要のないように、メールアドレスだけでも各ページに用意するといいでしょ。できればFAX番号も入れたいところです。

次の動作がわかりやすいこと ★★★★★

トップページには新着情報、トピックス、緊急連絡と似た項目が存在しています。ここでのトピックスは、各部局別の新着情報といった内容です。緊急連絡の項目を見ると、トピックスのメニューの一つだということがわかります。日付を見ると発表が2000年8月のものであります。

ユーザーに見てもらうため、情報を目立たせる工夫なのですが、これではそれぞれの情報の重要性が薄れてしまいます。目立たせたい項目は絞り込み、それ以外は決められたカテゴリー分類にしたがって適切にリンクを配置したほうがわかりやすくなります。

予想されたフィードバックが返ってくること ★★★★★

訪問済みのリンクテキストの文字色がグレーになります。これは文字が読みにくくなりますし、一般的にグレーは黒に比べて強調されていないというイメージを持たせます。訪問済みのリンクが強調されるよう、別の色使いを考えるべきでしょう。

ユーザビリティ総合評価 ★★★★★☆

一コメント シンプルでわかりやすいサイト構成です。ページが長すぎたり、情報が奥深くなりすぎる部分は、表示や分類を工夫してすばやく見つけられるようにしましょう。これから情報が増えたときに、引き続き整理された運用を続けられるかが勝負です。

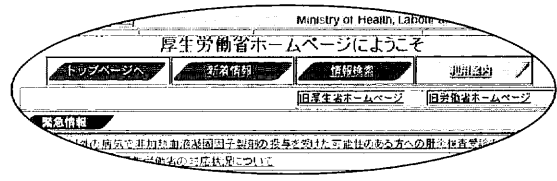
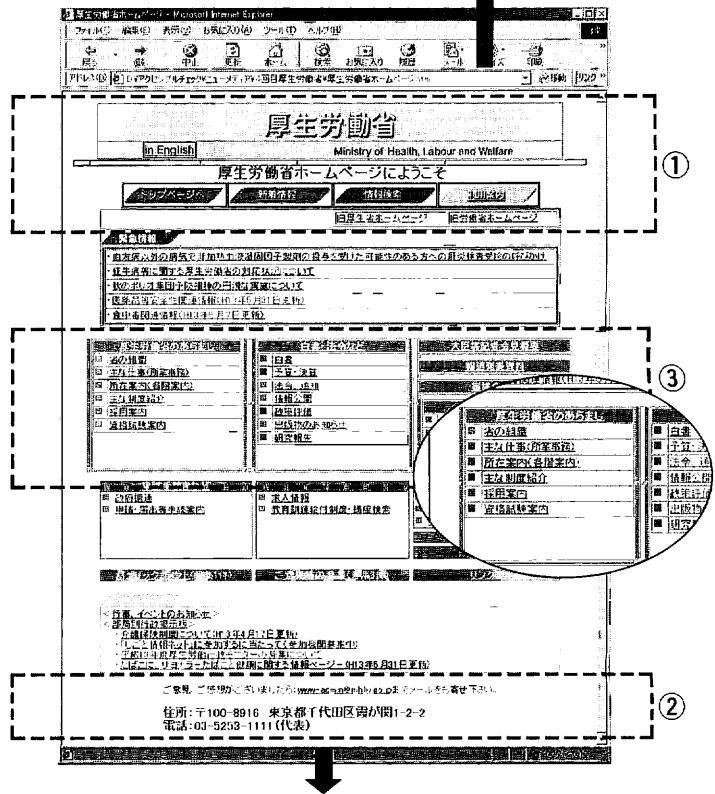


図1 http://www.mhlw.go.jp/



ご意見、ご感想がございましたら: www-admin@mhlw.go.jpまでメールをお寄せ下さい。
住所: 〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
電話: 03-5253-1111(代表)

図2 http://www.mhlw.go.jp/general/work/dajin.html

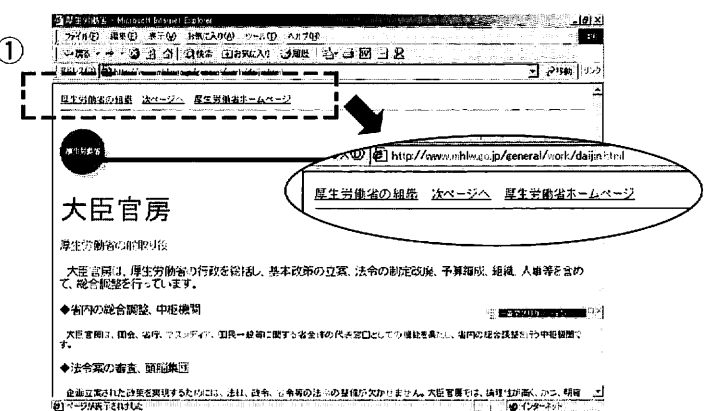
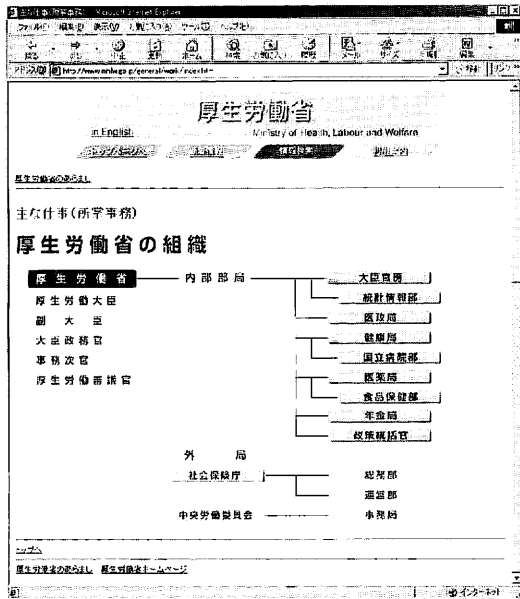


図3 <http://www.mhlw.go.jp/general/work/index.html>



アクセシビリティについて (解説/濱田英雄)

画像にはALT属性をつけること

★★★★★

数が少ないこともありますが、見たところ画像にはALT属性がついているようです。ただし、一部については意図的につけていないと好意的に判断しました。また、ALT属性に的確でないと思われるものが若干ありました。

外国語の乱用はしないこと

★★★★★

特別わかりにくいカタカナ言葉は見受けられませんでした。

<title>タグは的確につけること

★★★★★

「新着情報」など、いくつかのページで<title>が同じになっているところがありました。

背景と文字色はコントラストがあること

★★★★★

多少コントラストの弱いところもありますが、全体的にはそれほど問題はないと思います。

フレームの使用は必要最小限にすること

★★★★★

サイト内ではフレームは使用していないようです。

新しい技術には代替手段を用意すること

★★★★★

見た限りでは、新しい技術は使われていないようです。

その他

【トップページ】(図1)

普通、「あらし」などメニューが横に並ぶレイアウトを<table>で作成すると、左上から右下に横に読み上げてしまうため、意味が通じなくなります。デザインによる偶然かもしれませんが、ここでは横ではなく縦に読むことで、音声でもわかるようになっています。<table>を見えるようにした(図1-③)では、これをかなり使用しているのがわかります。毎回指摘していますが、<table>は本来表を作成するためのもので、通常のタグで同様に作れる部分に使うのは極力避けましょう。

【主な仕事(所掌事務)】(図3)

このページはリンクボタンの良い見本です。リンクしているところは盛り上げてボタンに見えるように、リンクしていない画像は平たくしています。マウス操作の困難な人にとって、このように見るだけでリンクの有無がわかることは大切です。

【中央労働委員会】(図4)

ガイドラインには、「色によって伝えられる情報は、色がなくても情報が伝わるようにすること」という項目があります。このページには写真右側の文章に赤字部分があり、説明がその下にあります。音声読み上げではこの2つの関係は伝わりません。配慮が必要です。

【平成13年度労働基準監督官採用試験】(図5)

このページは100KBクラスのパンフレット画像が8枚も並べてあります。読み込みに時間がかかるだけでなく、音声では内容がわかりません。視覚障害者を門前払いしているように受け止められる可能性があります。

【その他】

ほかの省庁にあるキッズページが見られませんでした。子供向けのページは一般の人にとってわかりやすいと思います。

アクセシビリティ総合評価

★★★★☆

一〇コメント フレームも使っていませんし、テキストが多く画像も必要最小限でシンプルなサイトでした。そのために評価は高くなりましたが、問題がないわけではありません。

図4 <http://www2.mhlw.go.jp/churoi/index.htm>

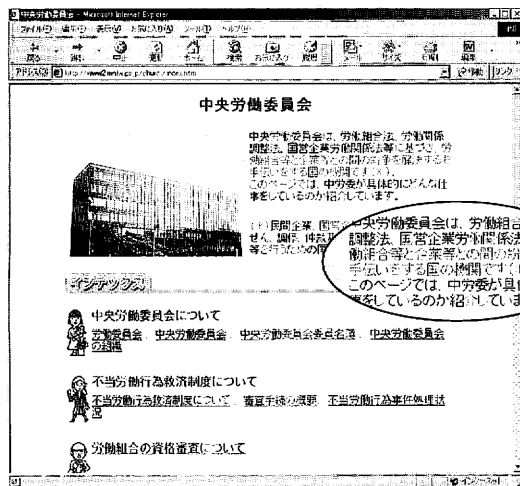


図5 <http://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/rkantoku.html>

